



2020年10月13日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ケ イ ブ
代 表 者 名 代表取締役社長 CEO 秋 田 英 好
(コード番号：3760、JASDAQ)
問 合 せ 先 代表取締役副社長 CFO 安 藤 裕 史
(TEL. 03-6820-8176)

株式報酬費用の発生に関するお知らせ

当社は、2021年5月期第1四半期連結累計期間（2020年6月1日から2020年8月31日まで）において、株式報酬費用（販売費及び一般管理費）を計上することとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 株式報酬費用の計上について

当社は、2020年5月期まで4期連続の営業赤字を計上しており、業績回復及び企業価値の増大を目指すにあたり、「ゲーム領域以外のオンラインエンターテインメント事の創出」が急務であります。そのため、業績回復への一層の意欲向上を目的として、2019年9月24日開催の当社取締役会決議において、当社取締役に対して、有償にて第24回新株予約権を発行しております。当該新株予約権は、当社の株価及び業績に応じた行使条件を付しており、当社の業績拡大および企業価値の増大に対する被割当者の意欲を一層向上させる内容となっております。

この度、2020年6月23日から29日までの当社株式の時価総額が80億円以上となったことにより、当該新株予約権の行使条件（※）に該当することとなり、2021年5月期第1四半期連結累計期間において、株式報酬費用30百万円を計上いたしました。

株式報酬費用は、ストックオプション制度において、当社の業績向上や中長期的な株価維持への新株予約権付与者に対する労働サービスの対価として支払われる報酬であります。これはキャッシュアウトを伴わない費用であるため、当社の現預金残高に影響を及ぼすことはなく、将来権利が行使された際には、現預金と資本金が増額されるものです。

その結果、2021年5月期第1四半期連結累計期間の業績は売上高437百万円、営業利益16百万円、経常利益18百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益5百万円となりました。

なお、株式報酬費用の影響を除いた場合の2021年5月期第1四半期連結累計期間の営業利益は47百万円であります。

※2019年10月9日から3年以内に5営業日連続で金融商品取引所における当社の普通株式の取引終値に基づいて算出した時価総額が80億円以上になった場合、当該新株予約権の50%の行使が可能となる条件を付しております。

2. 今後の見通し

株式報酬費用の計上を織り込んだ2021年5月期第1四半期連結累計期間の業績につきましては、本日公表の「2021年5月期第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」をご覧ください。

以 上